

議会運営委員会記録

1 日 時 令和元年12月13日（金曜日）

開 会 午前11時28分

閉 会 午前11時37分

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員 10人

委員長 金 厚 有 豊

副委員長 佐 藤 則 寿

委 員 押 田 大 祐

// 江 西 照 康

// 高 田 真 里

// 高 道 秋 彦

// 東 篤

// 成 田 光 雄

// 高 田 重 信

// 柞 山 数 男

4 欠席委員 0人

5 委員外議員として出席した者

議 員	木 下 章 広
//	島 隆 之
//	金 井 毅 俊
//	大 島 満
//	尾 上 一 彦
//	赤 星 ゆかり
//	村 上 和 久
//	高 見 隆 夫

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

局長	島 静一
理事（事務局次長）	浦野 弘司
参事（庶務課長）	中村 敏之
参事（議事調査課長）	福原 武
議事調査課長代理	石黒 隆司
議事調査課副主幹（議事係長）	中山 崇
議事調査課調査係長	牧野 仁美
議事調査課主査	酒井 優

7 会議の概要

委員長 ただいまから、議会運営委員会を開会いたします。

〔報道機関のテレビカメラ撮影を許可〕

委員長 まず、委員会記録の署名委員に高田 真里委員、高道委員を指名いたします。

まず、協議事項の1番目、会派から提出された意見書（案）・決議（案）についてであります。

今定例会において会派から提出されましたものは、お手元の資料のとおり、意見書（案）6件であります。

これらにつきましては、来週18日（水曜日）の本委員会において御協議いただくこととなりますので、それまでに各会派において御検討いただきたいと思います。

次に、協議事項の2番目、議会BCPについてであります。

このことについて、本委員会では、これまで委員及び各会派に計画案等を配付し、各会派からの御意見もお聞きしながら策定作業を進めてきたところであります。

しかしながら、12月2日に開催された各派

代表者会議で協議を行われた結果、市議会災害対策会議の組織の構成員について、会派間で意見が分かれたということです。

そこで、この項目以外については会派間で意見が一致しているという前提で、本日は、この項目に絞って協議を行いたいと思います。なお、現在の計画案はお手元に配付のとおりであります。

それでは委員の皆さんの御意見をお聞かせください。

東委員

これまでに議会運営委員会でも各派代表者会議でも協議をして、いろいろな意見が出た中で、市議会災害対策会議にはやはり全ての会派から人が入ったほうがよいのではないかという意見もあるわけです。

そういうことから、社民党でも一度持ち帰って議論しましたけれども、市議会災害対策会議には全ての会派から入るといった方がいいのではないかとということで、会派で意見をまとめました。

委員長

そのほかに御意見はありませんか。

柞山委員

そもそも、これは前回の議会運営委員会で決定したものを各派代表者会議で各会派へ説明

したのですが、最終的にはまた議会運営委員会で決定せよというような意見があったということでもあります。こんなことをしながら意思の決定をみだりに遅らせる、遅滞させるということはいかがなものかというふうに私は思っています。

全会派で協議をしたわけではありませんが、意見を集約するために全ての会派でまとめてきた事案でありまして、これまでにかなりの時間を費やしてまいりました。

今回この項目だけについて、一部会派の一議員からの提案—災害があったとき地域からの報告を受けるのに全会派から市議会災害対策会議に構成員として入る、といったような趣旨であったかと思いますが、災害時、市議会災害対策会議に構成員として全会派から入るか、入らないかということで、こういう計画の策定を遅らせるというのはいかがなものかなというふうに思っています。

そういうことも含めて、包含した計画案だと私は思っていますので、さきに決定しました現計画案で何ら差し支えがないというふうに思っています。ですから、きょうは再度、確認の意味での採決をしていただいて、前へ進めていただきたいというふうに思っています。

委員長

今ほど柝山委員からも話がありましたけれども、前回の本委員会で一度決めたことを各派代表者会議で協議して、その各派代表者会議から議会運営委員会に戻ってきました。

今度、議会運営委員会でまとまらなかったら、もう一度、各派代表者会議に返すのかと。そういうことの繰り返しになることはぜひとも避けたいと思っている次第であります。

佐藤委員

大変恐縮ですけれども、公明党の意見をまだ言っておりませんので。先般も私どもが申し上げたとおり、この構成員については我が会派にも、私個人にもいろいろな考えがありました。そのため、皆さんにお諮りしながら、この議会BCPについてまとめてきたという経緯があります。

いずれにしても、この市議会BCPを見ていただければわかるのですが、全ての会派の議員が構成員として入らなくても、発災のときには当然それぞれの議員が市民の代表として、代弁者として、それぞれの状況を報告するような体制がきちんととれてます。

各地域でいろいろな体制がありますけれども、このような構成員になっても支障がないというふうに我が会派では判断しておりまして、とりあえずこれで行こうということで前

回の議会運営委員会で賛成し、そこで決定したというふうに認識しております。

いま一度検討するということになりまして、今、柞山委員から話がありましたけれども、話の流れとしては一多数決がいいのかどうかわかりませんが一私どもも一旦決めたことについてあえて変えなくてはいけないというような議論まではしておりません。

最終的に、前回同様、まずはこれでスタートするべきというふうな判断をしております。

委員長

各会派からの御意見をお聞きしましたけれども、本日の協議では委員の皆さんの意見の一致は見られませんが、いつ起こるかわからない災害に対して、議会として業務継続計画を早く準備しておくべきだと考えております。委員の皆さんの中にはいろいろな意見があるとは思いますが、現在のこの計画案のとおりとしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それではそのように決定いたします。
議会BCPについて、本日協議した結果、前回と変わらず現在の計画案のとおりとするこ

とになりました。これを再協議した結果の本委員会としての最終的な結論であるということで、私のほうから議長へ報告したいと思います。

なお、この議会BCPについては、次回の各派代表者会議において、改めて計画策定の周知・確認を行うこととなりますので御承知おき願います。

柞山委員 確認ですが、議長に報告するのは当然なのですけれども、その後、各派代表者会議で諮るとか諮らないということは、この委員会で決めることなのですか。

委員長 各派代表者会議での周知です。

柞山委員 議長への報告や各派代表者会議での周知についてはいいのですが、また諮るということになると、同じことを繰り返し……

委員長 諮るというか、議長に報告する以上、各会派の皆さんにも周知しないと話はおかしいでしょう。

柞山委員 それは議長の判断であって、この委員会で言うべき話ではないでしょう。

（「委員長は諮るとは言ってない」と発言する者あり）

柞山委員 そのことには触れなくてもいいのではないですか。議長に報告するというだけでいいのではないですか。

委員長 私の発言の趣旨ですが、本委員会には全会派から委員が入っているわけではありません。委員外の会派の方もいらっしゃることから、各派代表者会議での周知が必要だと考えています。

以上で、本日の協議事項は終了いたしました。次回の議会運営委員会は、12月18日（水曜日）、建設委員会終了後に開き、当委員会に付託された議案の審査や継続審査となっている請願の審査を行いますので、よろしくお願いいたします。

これをもって、本日の議会運営委員会を閉会いたします

令和元年12月定例会
(令和元年12月13日)
議会運営委員会記録署名

委員長 金 厚 有 豊

署名委員 高 田 真 里

署名委員 高 道 秋 彦